

令和4年度第12回入退院時情報共有・連携ルール作業部会議事録

日時：令和5年3月16日(木)

午後3時15分～午後4時10分

場所：社会福社会館 3階会議室

安城市看取り体制の目指す姿

「本人が望む場所で、自分らしく最期まで今を生きる」

1. 手引書（案）について報告 資料①

前回資料からの修正点

- 1) 手引書 P.9、10 のフロー図右下にある文書や行動の説明を追加した。
- 2) 歯科医師会よりフローに内容を追加して頂けるとありがたいとの要望あり、事務局と歯科医師会会長、理事と相談し赤字部分を追加した。
- 3) P.2「医療機関の入退院に関わるスタッフの方へ」のケアマネジャーへの連絡はなるべく早くの所に赤字部分を追加した。(区分変更の可能性がある場合は担当者に連絡し調整を進めたいとの意向のため)
- 4) 訪問看護ネットワーク部会より P.19 の看護サマリーの表記について看看連携の意味合いを含めて内容を修正したい。(参考資料参照)

以上の4点について皆様よりご意見を頂く。

- 1) ～ 3) については承認。
- 4) 退院の際ケアマネジャー用と訪問看護用の2通発行頂くことは可能なのか？
病院によって対応が変わるが、できる限り対処したい。在宅側も必要と思われる際は病院側に要望する。
連絡先一覧がすべての文書の FAX 送信先ではないので、不明な点は窓口を確認し、指示された宛先に送信する。
関連して、P.8 連絡先一覧に掲載する電話番号も文書別に記載したほうが良いか？
病院により代表番号や部署の連絡先を掲載している。電話が集中し繋がりにくい現状もあるが、部署の番号を書くことで、部署に連絡が集中してしまう懸念もある。
サルビー見守りネットのホームページに掲載を考えているため、公開してもよい情報を掲載する必要がある。→各病院で検討し3月末までに事務局に連絡頂く。

その他

- ・退院前の薬剤情報提供書を病院の薬剤師が使用してもらえるのか？病院によりフォーマットが異なるため難しいのではないか。
厚労省のひな型に準拠しているので必要な項目は網羅されている。

安城市薬剤師会推奨の文章を追加し、ひな型集の中に掲載してはどうか。入院と退院がばらばらに分かれるのも見にくいと思われる。P.11 の文書名の所に安城市薬剤師会推奨と掲載し、紹介する。入院する際はかかりつけ薬局がひな型を使い病院に送信する。

2. オブザーバーからのコメント

・「終わりに」に記載したように、皆様が使いやすいようにまとめられたら良いと思っていた。多忙な業務の中タイムリーな情報共有ができるようにと考えていたが、まとめてみると想像以上の内容になり驚いている。使いながら修正していけるとよい。

・それぞれの立場があり統一した行動が難しい部分もある。まずは実践してみて、修正を重ねていくことが必要と思われる。市外からも入退院する患者がいるため、必ずしも手引書通りにいかないケースもあるので柔軟な対応ができるとよい。

3. 周知計画について 資料③

各部会でいつ頃、周知会を開催するか検討し3月末までに事務局に提出頂きたい。

4. 印刷冊数について 資料③

手引書についてはサルビー見守りネット資料に掲載予定。

原則各事業所1部配布と考えているが、希望を確認したい。

説明会用に資料が必要であれば3月末までに事務局に冊数を連絡する。

現時点の要望

松井整形外科より5部

薬剤師会は10部。

ケアマネット30部

5. 事務連絡

4月は担当部署への説明・周知計画立案

1年間の活動成果を令和5年度の推進会議でサポートセンターより報告をしたい。会議の様子を写真撮影し、報告用資料として活用してよろしいか。→一同承認

次回開催日 令和5年4月20日(木)午後3時15分～社会福社会館3階会議室